

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	ストックホルム大学 (国名:スウェーデン)	
留学先学部名(またはプログラム名)	法学部	
留学期間	2011 年 8月 ~	2012年 6月
学部/学府・年次	法学部/学府	3年次~ 4年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したため	
	4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	一年次から単位を落とさないようにしました。その他には特にありません。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) ②. 大学院進学(慶應義塾大学法務研究科志望) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	しませんでした。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>基本的に体系的な授業というよりは、一つのテーマのもとに個々のトピックが設定され、そのトピックについて各々の先生が講義を行い、学生と先生とで議論をするという授業形態がメインでした。トピックは具体的かつ専門的なものが多いです。従って、あらかじめ自分でトピックに関連する基本的な情報を教科書等で確認しておかないと、授業について行くのが難しくなります。</p> <p>授業の数は各授業によって変わりますが、一般的には週に2~3回で、1回90分です。最初、これでは少ないと思ったのですが、実際に受けてみると決して楽ではありませんでした。授業内容の理解を深めるためにはいいペースだったと思います。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面でのサポートは利用しなかったのですが、勉学面では、授業で理解できなかったことや、レポートのトピックの選び方など疑問に思ったことや不安なことを担当の先生に聞くと、丁寧に答えてくれました。その他のサポートも受けることが無かったのでわかりません。また、履修に関してわからないことなどは、担当者に聞けばすぐ答えてもらえました。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>ヨーロッパの様々な国から学生がきており、また男女比がほぼ均等(男子:女子=4:6)で、多様な意見交換の場としては最適でした。授業のコマ数も過剰ではなく、程よく設定されていました。先生方や、履修登録のアシスタントの方などの対応もすばやくかつ丁寧に問題無く過ごせました。ただ、時々1つのコースにおけるトピックの設定に統一感がなく、各トピックの断片的な知識しか得られない授業や、授業コマ数と対象となっている内容に大きなギャップがあり、ついていけない授業などがありました。しかし、少人数授業で、グループワークのある授業が多かったり、充実した図書館や学習スペース、リーズナブルなカフェテラス、学内の無料 Wi-Fi など設備が整っており、総合的にはとても良い大学だったと思います。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>事前に語学の勉強をしっかりとすることをお勧めしたいです。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>居住許可</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>移民局</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>インターネット上でのアプリケーションの後、日本にいる間に承認の通知をもらい、その上を持ってスウェーデンの移民局に行き、顔写真や指紋の記録などを行い、その後2週間以内にスウェーデンの居住先に居住許可カードが送られてきます。 インターネット上での申請には、パスポート、大学側からの受け入れ証明書、財政証明書、海外留学中の保険の内容書をPDF化したものが必要となります。 (記憶を頼りに書いたので、各自で調べて下さい。)</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>私はインターネットでの申請が遅く、実際はよくわかりませんでした。移民局側での処理の遅れによって、4ヶ月ほどかかりました。</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	治安もよく、必要な物も揃うので何の不便も無く過ごせます。ただ物価が高く(特に外食)、他の国より出費は多くなってしまいます。そのため、よく自炊をしていました。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 15万円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 1万7千円、光熱水料: 0円(家賃に含まれています)、通学費: 0円(徒歩で通えたので)、食費: 7~10万円、電話代: 2000~3000円、インターネット代: 0円(家賃に含まれています)、書籍代: 1万5千円</p> <p>その他:(具体的に)一回の旅行(3泊~5泊)に3万円ほどかけていました。</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	パソコン、コンセントのアダプター
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	治安に関して心配することは何も無いと思います。ただ夜間に一人で出歩くと、強姦に会うことがあるそうです。幸い私が居たときには周りで誰もそのようなことにあったことは無いのですが、スウェーデン人曰く強姦(男女関係なく)が多いそうです。冬は寒いので厚手のダウンや手袋、雪に対応できる靴を用意した方がいいです。

<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>最も適当な方法はクレジットカードを使うことです。スウェーデンでは基本的にどこでもクレジットカードが使えるので、便利です。ただ、旅行先や、一部のバー、機会が壊れているお店等も時々あるので、カードにキャッシング機能をつけるか、いづらか現金を持って行くことをおすすめします。</p>
---	---

4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>Professorslingan25 1304 Stockholm Sweden SE-114 17</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>1万7千円</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>九州大学から留学の申請をする際に留学先の大学が準備してくれました。日本人の学生は誰も住居を難なく与えられていたので特に心配はないと思います。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>推薦できます。たくさんの方が集まっており、学生同士の交流が棟をこえて盛んに行われているので充実した留学生在活が楽しめると思います。キッチン共有タイプと、そうでないタイプがあるのですが、共有タイプを特にお勧めします。やはり、キッチンはあまりきれいでなく衛生的ではないのですが、全く使えないほど汚くはありませんし、キッチン共有タイプでは他の寮生との交流が出来る、楽しい留学生在活になると思います。一方、共有でないタイプは二人で一つの大きな部屋に住むタイプなので、相手の方がどういう人かでかなり大きく変わると思います。</p>
<p>留学生在活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>ほとんどのスウェーデン人が親切かつ英語が流暢なので安心して生活を送れます。日照時間の変化が急だったり、異常な寒さの冬があったりと環境が厳しいので、日本からいくつか薬を持って行くことをお勧めします。</p>

5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
------	-----	------

--	--	--

6. その他の特記事項

--